

2022年度 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

一般社団法人 日本真空工業会（以下、JVIA）は辻村 学 会長の下で、基本方針である定款第3条の「(JVIAの目的は) 国民生活の向上に寄与すると共に会員の発展、繁栄と会員相互の協調を図ることを目的とする」に則って活動を行った。今年度はJVIAの長期ビジョンに基づいて策定される「アクションプラン2024」の初年度に当たり、「社会的使命」と「会員の利益」の二つを機軸として、JVIAの「存在感のアップ」と「グローバル化」を具現化するべく、理事会、企画委員会、各専門委員会、ならびに関西支部を中心に活動を行った。

1. 2022年度のトピックス

- ・入会は、正会員1社、賛助会員5社、特別会員1法人、正会員から賛助会員への変更1社、退会は、正会員1社、賛助会員3社。
- ・「IVC-22 (The 22nd International Vacuum Congress)」(札幌コンベンションセンター、9月)を中心に3年ぶりに国内視察を実施した。会場ではJVSS 福谷会長以下幹部との会合、Kovra (韓国真空技術研究組合)との交流会が行われた。参加者25名
- ・昨今社会的に著作権保護の要求が強くなっていることを受け、JVIAが使用する資料等の著作権の取り扱いについての方針を定め、「著作権譲渡契約書」、「利用承諾書」「転載利用のお願い」等のひな型を作成した。
- ・「JVIA 動画通信 (会長編)」(全9回)をホームページに公開した。

2. JVIA 活動内容の詳細

1) 関西支部

- ・第36回定時総会・講演会 (Web併用) ※懇親会は中止
6月8日(水) 於:アートホテル大阪ベイタワー
総 会 出席会員数50名 (出席19名、書面31名)
講演会 神戸大学大学院理学研究所 教授 竹内 康雄 様
「地底から探る素粒子と宇宙の謎」、聴講者48名 (うちWeb参加9名)
- ・秋季合同講演会 (公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部との共催) ※懇親会は中止
9月8日(木) 於:アートホテル大阪ベイタワー
① 大阪大学 産業科学研究所 3次元ナノ構造科学研究分野
准教授 服部 梓 様「3次元ナノ構造科学とダイバーシティ・インクルージョン」
② 岡山大学異分野融合先端研究コア
研究教授 仁科 勇太 様「黒鉛の剥離技術の開発と用途開拓」
聴講者 JVIA 47名 (うちWeb7名)、学会14名 (うちWeb14名)
- ・見学会 (2～3月予定)、KV会 (4月、10月予定)、若手社員交流会 (6月、10月予定) は中止

2) 企画委員会

- ・JVIA表彰2021 表彰式
5月27日(金)社員総会記念講演会后、芝パークホテルにて昨年に引き続き開催。受賞内容は真空ジャーナルにて紹介した。
- ・第8回サプライヤ交流会
10月19日(水)、東京ビッグサイト会議棟にて3年ぶりに開催。
プレゼン(4社)および飲食なしの懇親会(ソフトドリンクのみ)だったが、久しぶりのリアルの交流会で大いに盛り上がった。
- ・若手交流会(JVIA—EAST)
11月12日(土)、「JVIA-EAST 寄席/落語でランチ」として「下町かつぼうだら毛」にて、落語家桂小文治師匠をお迎えし「徂徠豆腐(そらいどうふ)」を鑑賞した。参加者25名。日本が誇る伝統芸能に若い世代が触れる機会が持てたと好評だった。
- ・身近な真空調査小委員会
真空技術を広め会員事業機会拡大につながる活動として、真空展2022および新価値創造展2022において「真空実験コーナー」「真空なんでも相談コーナー」を開設した。

3) 教育委員会

幅広い産業の基盤技術である真空技術の維持・向上を図る目的で、本年度は下記の真空教育講座を実施した。

- ・第27回真空ウォーキングコース(実習で体験する真空基礎講習会)
8月23日(月)~27日(金)、於:工学院大学 八王子キャンパス、受講者124名(A,B日程)
3年ぶりのリアル開催となり、募集開始3日間で満員となる人気ぶりだった。
- ・「はじめて真空」「真空入門講座」
真空展においてリアル開催を実施した。(東京ビッグサイト)
「はじめて真空」受講者40名(3日間)、「真空入門講座」受講者63名(3日間)

4) 出版委員会

JVIAの活動を広く会員各位および社会に公告するため、真空ジャーナルを年4回発行(毎回:1,100部)した。

真空ジャーナルに関する読者アンケートを実施、結果を踏まえ今後の内容に活かしていく。

5) 規格標準委員会

- ・ISO/TC112で取り扱う真空技術に係わる国際規格の整備事業を公益社団法人日本表面真空学会と共に「規格標準合同検討委員会」として活動を行った。
- ・規格標準報告会
10月20日(木)、真空展においてリアル開催を実施した。(東京ビッグサイト)
テーマ「日本の半導体と真空技術の国際規格動向」聴講者38名
- ・主なISO関連活動(ISO/TC112)
 - (1) WG1 ISO/DIS 21360-6 クライオポンプの性能試験方法・・・40.60
 - (2) WG1 ISO/DIS 21360-5:2020 NEGポンプの性能試験方法・・・40.60

- (3) WG2 ISO/CD TS 6737 高安定電離真空計の特性・・・30.60
- (4) ISO 19685 ピラニ真空計の仕様、構成、測定不確かさ
- (5) ISO 14291 四重極型質量分析計の仕様について
- (6) ISO 3669 ナイフェッジフランジの形状及び寸法

・主な JIS 関連活動

- (1) JIS Z 8617 ダイアグラム用図記号（オブザーバーとして参加）
- (2) JIS Z 8126-2 真空ポンプ用語
- (3) JIS B 8365 真空装置用クランプ系継ぎ手の形状

6) 技術フォーラム委員会

- ・真空フォーラム・シンポジウムシンポジウム

10月20日（木）、真空展においてリアル開催を実施した。（東京ビッグサイト）
テーマ「グリーンエネルギーへの転換と真空産業」、聴講者 69 名

7) 統計委員会

- ・2022年度の統計参加会社数は46社で、四半期ごとに受注・売上データを集計し年間で4回プレスリリースを実施した。四半期毎の国際統計事業は日本（JVIA）、欧州（EVTA）、米国（AVEM）の3団体から真空コンポーネント製品の売上データの収集を行った。
- ・毎年1回開催される国際統計会議（ISVT）は、11月29日、ドイツをホスト国として3か国同時にWeb会議にて開催され、意見交換を行った。

8) 環境委員会

- ・会員各社に環境活動アンケートを実施し、「環境活動報告書2022」を真空ジャーナル10月号に合併号として掲載した。
- ・環境トピックス「初心者向け環境法令 Basic 講座」
10月20日（木）、真空展においてリアル開催を実施した。（東京ビッグサイト）
聴講者6名（申込29名）
- ・「環境教育講座」（SEAJ/JVIA 合同セミナー）
2月3日（金）、島津製作所会議室からウェビナー形式にて配信した。聴講者120名

9) 安全委員会

- ・委員会名を従来の「CS委員会」より「安全委員会」に変更した。
- ・作業安全教育講座「貴方の安全対策は万全ですか？作業安全を見直す為の講座」
10月20日（木）、真空展においてリアル開催を実施した。（東京ビッグサイト）受講者5名
- ・国内工場視察
2月9日（木）川村義肢株式会社（大阪府大東市）、参加者9名
義肢装具や車いすの製造現場における安全管理方法を視察した。
- ・安全教育講座 in 関西
2月10日（金）、日本電子株式会社会議室にて開催した。受講者25名

10) 展示会委員会

・「VACUUM2022 真空展」

10月19日（水）～21日（金）、昨年に引き続きリアル展示会を開催した。（東京ビッグサイト）展示会は日刊工業新聞社がイベント運営担当を行い、「2022 洗浄産業展」、「Japan Robot Week2022」、「SAMPE Japan 先端材料技術展 2022」、「高精度・難加工技術展 2022」、「表面改質展 2022」との同時開催。

3日間の入場者は6,516名（2021年は5,256名）であった。

・基調講演会

①10月19日（水）講師：産業タイムズ社 会長 泉谷 渉様

テーマ：「半導体産業は100兆円達成に向けて疾走中～DX革命、メタバースでさらなる成長～」

②10月21日（金）講師：公安調査庁 経済安全保障特別調査室 室長 近 智徳様

テーマ：「経済安全保障の確保に向けて～技術等流出に関する事案と防止のポイント」

・主催者ゾーン

①ドローン操縦体験

マイクロドローンの操縦、株式会社アイテム様

②実演体験

介護食製造技術「冷凍含浸法」による実食品デモンストレーション、
広島県立総合技術研究所 食品工業技術センター様

11) 事務局

会員会社とのコミュニケーション

会員各位の意見交換の場として、下記の会合を芝パークホテルにて実施した。

- ・5月27日、「定時社員総会」「記念講演会」をWebとリアルのハイブリッド形式にて開催した。
- ・1月13日、「賀詞交歓会」を3年ぶりに飲食なし（ソフトドリンクのみ）にて開催した。

公益社団法人 日本表面真空学会との協業

- ・規格標準合同検討委員会にてISO/TC112（真空技術）とJIS真空関連規格の作成活動を実施した。
- ・VACUUM2022 真空展を共同主催で行った。
- ・第20回真空技術者資格認定試験を行った。

内外関係機関等との交流および協力

- ・国内関連諸団体との情報交換やセミナー等の協力共同事業として、11の団体の展示会、講演会に協賛名義許諾の発行を行った。
- ・11月19日、「第1回S J会ゴルフコンペ」（SEAJ/JVIA 共催）を西武園ゴルフ場にて開催した。

経済産業省産業機械課との連携

- ・「生産性向上特別措置法案」に関わる証明書発行書業務を行い、今年度の発行件数は58件であった。

財務省主税局との連携

- ・3月8日、令和5年10月より開始されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応に向けた説明会をオンラインにて開催した。

講師は財務省主税局より派遣いただいた。受講者21名

会員勧誘活動の件

- ・下記展示会にJVIAブースを出展し、JVIA紹介、新規会員募集を行った。

SEMICON Japan 2022 2022年12月14日（水）～16日（金）

3. 事業報告の附属明細

1) 出版物

- ・「環境活動報告書2022」－環境委員会

2) 会員移動

年度内の会員の移動は以下の通りである。

【会員数】

※：区分変更含む

会員区分	22.4.1 現在	入会	退会	23.4.1 現在
正会員	46	1	2 ※	45
賛助会員	50	6 ※	3	53
特別会員	11	1	0	12
計	107	8	5	110

会員区分	22.4.1 現在	入会	退会	23.4.1 現在
シニア会員	16	2	0	18

【入会】正会員：内外テック株式会社

賛助会員：大成技研株式会社、真空光学株式会社、株式会社メテクス、株式会社タアフ、
東レエンジニアリング先端半導体 MI テクノロジー株式会社

特別会員：静岡県東京事務所

【退会】正会員：大亜真空株式会社

賛助会員：VAT株式会社、アルバック九州株式会社、伯東株式会社

【区分変更】正会員⇒賛助会員：株式会社ヒラノ K&E

※事業報告書の内容を補足すべき重要事項はないので附属明細書は作成しない。

以上